

オンライン大学の発展と課題：
ミネルバ大学の事例から（実習の進捗発表（ジュニア（大学1～3年生），新規発表））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-08-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渥美, 雄斗, 宇佐美, 聖人, 鈴木, 佳那子, 水野, 萌子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028303

オンライン大学の発展と課題：ミネルバ大学の事例から

渥美雄斗（静岡大学情報学部情報科学科），
宇佐美聖人（静岡大学情報学部行動情報学科），
鈴木佳那子（静岡大学情報学部情報科学科），
水野萌子（静岡大学情報学部情報社会学科）

コロナ禍の影響で ICT や MOOC を利用した講義が増えている。しかし、日本におけるオンライン講義の問題として、学費が通学制と変わらず高額であること等が指摘されている。

私たちは自身もオンライン講義の利用者として、ICT 教育と MOOC の利点・欠点に興味を持ち、その中でも ICT 教育と MOOC の複合型とも言えるミネルバ大学に注視し、今後の展望と課題について予測した。

文献調査の結果、ミネルバ大学のメリットとして、少人数制であるため学生に対する教師の割合が高いことと、インターンシップの機会が豊富であることが明らかになった。他方、デメリットとして、国際的にみて学費が高いことが挙げられる。授業料を抑えた名門校を作ることを目指して設置されたミネルバ大学は、アメリカ国内では比較的安価であるが、日本やヨーロッパの大学と比較すると高額である。

以上より、ミネルバ大学型の大学は、10年後の将来、国内の他大学よりも学費を安くすることでさらに発展すると推測する。

<関連実習科目>

PBL 演習